

第113回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日 時: 2026年6月3日(水) 14時00分～15時15分
2. 場 所: 公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者: 菅原委員長、井岡委員、大沼委員、高岡委員、根村委員、山田委員、山本委員 以上7名
その他 経済産業省・環境省担当官、公益財団法人自動車リサイクル促進センター役職員が出席
4. 議 題: (1)2025年度概況(報告事項)
(2)2025年度事業報告(報告事項)
(3)2025年度決算報告(報告事項)
(4)2025年度特預金の出えん等実績(報告事項)
(5)2025年度運用実績(報告事項)
(6)監査室による資金管理センターに対する内部監査の結果(報告事項)
(7)「合意された手続」の実施結果(報告事項)
(8)ユーザー理解活動の取組状況(報告事項)

5. 議事録

(1)2025年度概況(報告事項)

事務局から資料「第113回 資金管理業務諮問委員会」の3～7ページにて報告した。

<主な意見>

【委員A】

市場金利は上昇基調にあり、特に長期及び超長期の金利は上昇が速く、イールドカーブのスティープ化が進んでいる。背景は、日銀の金融政策正常化、財政悪化による国債増発懸念、世界的な金利高止まりの3点である。今後も短期金利は日銀政策に沿って緩やかに上昇し、長期金利は需給・財政・世界金利の影響で不安定ながら上振れするという見方が市場のコンセンサスである。

(2)2025年度事業報告(報告事項)

事務局から同資料の8～14ページにて報告した。

<主な意見>

【委員B】

資料の9ページにある引取時預託について、預託台数が2万台、預託収入が1億円とあるが、単価が5,000円程度と考えてよいのか。新車時預託での平均単価は10,000円を超えているが、預託単価の差異の理由を教えてください。

【事務局】

法施行時は、当時流通していた車について車検のタイミングで一斉にリサイクル料金の預託を受けた。この際、中古車市場に滞留する等の理由で預託されなかった車や、ナンバープレートを付けずに敷地内だけを走行する構内車等は、廃車時に料金を受け取っており、これを引取時預託としている。預託台数の2万台、預託収入の1億円という数字は端数を四捨五入しているため、1台当たりの単価は正確に5,000円とはならないが、引取時預託にはエアバッグ未装着車等の古い車も多く含まれるため、現在の平均的な単価約1万円強より低い傾向にある。

(3)2025年度決算報告(報告事項)

事務局から同資料の15～28ページにて報告した。

<主な意見>

【委員C】

資金管理料金収支で長期性預金預入を行っているが、このような運用はこれまでも行っていたか。また、資金の余裕がある場合、今後行う予定はあるのか。

【事務局】

これまでは金利が限られていたことから留保資金を普通預金等で管理していたが、一定程度の金利が付く状況になり、2025年度から一部資金の定期預金への預入を開始した。必要な留保資金の金額を把握したうえで、リスクのない範囲で定期預金による運用を行いたいと考えている。

【委員D】

先日、中古EVの約8割が輸出され、EVに使用されているレアメタルの大半が海外へ流出しているとの報道があった。その中では、国内におけるEVリサイクルの体制ができていないことが原因と指摘されており、今後、中古EVの国内循環や、国内での確実な資源確保に向けた取り組み、あるいはそのための検討について、ぜひJARCとしても進めてもらいたい。

【理事A】

電動車の輸出が非常に多い状況はJARCも懸念しており、課題として認識している。国内で電動車の価値を見いだして中古車として乗り続けることや、使用済自動車となった際に全ての部品を資源化できる仕組みを構築することが、使用済自動車の価値を向上させ、結果として海外流出の抑制につながると考えている。また、本日出席の経済産業省・環境省による政策的な対応も一部必要になると認識している。今後ともこうした課題認識を常に持ちながら、国内での資源循環に向けて取り組みを進めていきたい。

(4)2025年度特預金の出えん等実績(報告事項)

事務局から同資料の29～37ページにて報告した。

＜主な意見＞

【委員E】

離島対策等支援事業を通じた自治体への支援について、支援のスキームを伺いたい。各自治体が搬出台数等を根拠に補助を申請するような方式なのか。

【事務局】

自治体からの申請に基づき支援を行っている。申請内容を審査し、海上輸送費が適正であることを確認したうえで支払いを実施している。

【委員A】

申請後の審査で不承認となるケースもあるのか。

【事務局】

不承認になるケースはほとんどないが、使用済自動車とそれ以外のものを同じ船で輸送した際等に、使用済自動車以外の輸送費も誤って申請があるような場合には、使用済自動車の輸送費のみに内容を修正してもらうこと等も稀にある。

(5) 2025年度運用実績(報告事項)

事務局から同資料の38～46ページにて報告した。

＜主な意見＞

【委員B】

取得したESG債のうちグリーン共同債という債券について説明願いたい。小さな自治体も共同発行団体に含まれるのか。

【事務局】

複数の地方自治体が共同で発行するグリーンボンドである。参加しているのは、都道府県および政令市のみである。

(6) 監査室による資金管理センターに対する内部監査の結果(報告事項)

監査室から同資料の47ページにて報告した。

＜主な意見＞

なし

(7) 「合意された手続」の実施結果(報告事項)

監査室から同資料の48ページにて報告した。

＜主な意見＞

なし

(8)ユーザー理解活動の取組状況(報告事項)

広報・理解活動推進部から別冊「ユーザー理解活動の取組状況」にて報告した。

<主な意見>

【委員B】

クルマのリサイクル作品コンクールについて、募集方法を工夫して改善した結果、応募が約3倍に増えた点を高く評価したい。またトレインTVを活用した広報活動は、多くの人の目に触れる良い機会になった。今後は放映する動画をリニューアルする予定とのことで、継続して実施してもらいたい。

【委員F】

クルマのリサイクル作品コンクールでは、クレヨンや絵の具で描かれた作品の「現物」を提出してもらっているのか。最近では、生成AIを使って大量に応募する事例があるという話も聞かため、本コンクールについて教えていただきたい。

【広報・理解活動推進部】

手描き作品の現物を提出してもらっており、実際の絵を受け取っている。

以 上